

最新の業界事情

映像系クリエイターの活躍の場は拡大中!

映像系クリエイターの活躍の場は、ここ数年のメディアの多様化により、ますます広がってきている。テレビに関しては、地上波のほかBS、CS、ケーブルテレビ、さらにブロードバンド放送（インターネットによるテレビ放送）なども加わり、全体の番組数は増加。また、日本映画もここ数年は活況。2000年前後は封切本数が300本を切っていたが、2006～2008年は400本を超えており、これらの映像作品では、今やCGやVFXが当たり前に使われるようになっており、CG系クリエイターへのニーズは高まる一方だ。また、最近では、動画サイトで作品を発表した個人のクリエイターが映像作家デビューをする例も増えてきており、注目されている。

映像制作関連のその他の仕事



ナレーター

映像作品のナレーションを吹き込む仕事。アナウンサーや俳優が担当することも多い。



音響効果

コンピュータなどを駆使して、映像の音のバランスを調整したり、効果音を加えたりする仕事。

撮影現場で活躍する職種

撮影スタジオなどで実写映像の収録を行う際には、多くのスタッフがかかわる。なかでも代表的な専門職は以下のとおり。このほか、ヘアメイク、スタイリストなども活躍。

照明スタッフ

ディレクターの指示の下、その作品に適した撮影用の光を作り出す専門職。ライトマンともいう。

美術スタッフ

撮影シーンに合わせた背景を作り上げ、必要な道具を準備する。大道具、小道具などの仕事。

音声スタッフ

撮影現場で、出演者の声など必要な音声を的確に録音したり、録音した音声を編集したりする仕事。



映像カメラマン

業務用テレビカメラを駆使して実写映像を撮影する仕事。映像を効果的に見せるカメラワークなどが必要。

映像ディレクター

テレビ番組など映像作品の制作に関する責任者。スタッフに指示し、企画に沿った作品を作り上げる。

AD

アシスタントディレクター。撮影に必要な各種手配や撮影現場におけるディレクターのサポートなどを行う。

テレビ、映画、ゲーム…etc. 魅力を身边に実感できる業界!

テレビ番組、映画、アニメ、CM、ゲーム、音楽PVから企業の広報用DVD、教材用DVDに至るまで、私たちの娯楽や生活に欠かせない映像作品。誰にとっても身近な分野で、将来、映像制作にかかる仕事をしたいと考えている高校生もたくさんいるはずだ。では、その全体像を紹介しよう。

映像制作を行う企業

映像関連の制作会社は多岐にわたる。以下に紹介しているほか、テレビ番組やCM専門の制作会社、映画制作会社、デザイン会社などがある。多くは、少数精銳の中小企業だ。

映像制作会社

実写の撮影から、CG制作や編集までを行う制作会社。自社で映像作品を制作するケースも多い。映像ディレクター、AD、音声、照明といった専門職、さらにCGデザイナーやVFXクリエイターなどが活躍。



アニメ制作会社

アニメ作品を制作する会社。作品の企画から制作までを全般的に行う会社も多い。スタジオジブリなど有名。ディレクター（監督）、CGデザイナー、CGアニメーターのほか、手描きで原画を作成するアニメーターなどが活躍。



CG制作会社

CG映像の制作に特化した制作会社。テレビ局や広告代理店、映像制作会社などから発注を受け、実写も交えたテレビ番組、CM、映像作品のCG部分や、全編CGの作品などを制作。CGデザイナーなどが活躍。



ポストプロダクション

テレビ番組や映画、CMなどを制作するために収録した映像を最終的に加工・編集するスタジオ。制作物のディレクターの指示の下、ポストプロ所属のVFXクリエイターや映像編集者が映像素材を加工・編集する。



↑発注

映像制作を発注する企業

以下は、制作会社やポストプロダクションに映像制作・編集を発注する主な企業。自社でメインの制作を行い、一部を外注するケースも多い。ほかに、上で紹介した制作会社も制作の一部を他企業に発注する。

テレビ局

地上派キー局以外にも地方局やCS局、ブロードバンド放送局などがあり、番組制作や映像制作を発注。自社でも制作を行う。

広告代理店

テレビなどで放送されるCMは、広告代理店が企画を立て、CM制作会社や映像制作会社に制作を発注。自社でも制作を行う。

レコード会社

レコード会社は、アーティストのプロモーションビデオなどの制作を発注。企画段階から映像制作会社が関わるケースもある。

仕事がわかる業界図鑑

映像制作業界

取材・文／伊藤敬太郎 撮影／田中史彦 イラスト／藤井昌子

映像制作業界の職種＆業種相関図

映像制作には、大手から中小までの様々な企業、そして多くのクリエイターや専門職がかかわっている。それぞれの役割や仕事の中身、関係をチェック！

CG関連のクリエイター職種

CG制作はチーム作業で進める場合が多い。制作物の規模により、数人で行う場合もあれば数十人単位で行うこともある。職種は大まかに以下のように分類できるが、重複して担当するクリエイターも少なくない。



CGデザイナー

グラフィックソフトや3DCGソフトを駆使して、3DCGのキャラクターや乗り物、背景などを制作するクリエイター。Illustrator、Photoshop、さらにMAYA、Lightwave 3Dなどのソフトは必須ツール。



CGアニメーター

今やアニメの世界もデジタル制作が主流。そこで活躍するのが、CGアニメーターだ。必要なスキルはCGデザイナーと共通するが、キャラクターの動きやカメラワークに関しては特に高い専門性を要する仕事。

代表的なCG制作ソフト

MAYA	トップクリエイターが愛用する高性能3DCGソフト
Lightwave 3D	3DCGソフト。MAYAより安く、初心者にも扱いやすい
Illustrator	グラフィックソフト。平面の画像を作成するのに使う
Photoshop	画像処理ソフト。写真の加工などに使う
Aftereffects	動画映像の加工・合成に特化したソフト



CG作家

デジタル技術が普及し、ソフトなども安価になったことで、今や個人で短編のCGアニメ作品を作成することが可能に。フリーの作家として活躍するクリエイターも多い。

映像制作を発注する企業

以下は、制作会社やポストプロダクションに映像制作・編集を発注する主な企業。自社でメインの制作を行い、一部を外注するケースも多い。ほかに、上で紹介した制作会社も制作の一部を他企業に発注する。

テレビ局

地上派キー局以外にも地方局やCS局、ブロードバンド放送局などがあり、番組制作や映像制作を発注。自社でも制作を行う。

広告代理店

テレビなどで放送されるCMは、広告代理店が企画を立て、CM制作会社や映像制作会社に制作を発注。自社でも制作を行う。

レコード会社

レコード会社は、アーティストのプロモーションビデオなどの制作を発注。企画段階から映像制作会社が関わるケースもある。

その他の企業

一般企業が広報用映像制作を発注したり、出版社や教育関連会社などが教材用DVD制作などを発注したりするケースも多い。

